

歴史総合, 世界史探究

(60分)

注意事項

1. 試験問題は、問1～問35まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問1～問35までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

問題 I

次の文章を読み、下の問(問1～12)に答えよ。

現代のインドは、世界最大の人口を抱え、IT・医薬・宇宙開発など先端分野で存在感を示す大国である。シリコンバレーを支える多数のインド系技術者、急成長を遂げるデジタル市場、そして民主主義国としての安定した政治体制は、インドが「次なる超大国」と目される根拠となっている。この姿は近年の経済自由化の成果だけでなく、ムガル帝国の形成、イギリスによる植民地支配、独立運動、そして印パ分離に至る長い歴史の積み重ねの上に実現された。

16世紀、が北インドを制圧してムガル帝国を建国した。第3代アクバル帝は中央集権を強めると同時に、宗教的寛容策を実施し、ヒンドゥー教徒との協調をはかった。これによって多民族社会の統合が進み、文化的にはペルシア文化とインド文化の融合が進展した。17世紀、シャー＝ジャハーン時代に帝国は繁栄の頂点に立つが、アウラングゼーブ帝はイスラーム正統派的政策を強め、ヒンドゥー教徒やシク教徒を抑圧し、南方での長期戦争を続けたため、帝国は急速に弱体化した。

この混乱を背景に、が軍事的影響力を拡大する。1757年のプラッシーの戦い、1764年のブクサールの戦いを経て、18世紀後半にはベンガルを拠点にインド支配を広げた。1857年のインド大反乱(シパーヒーの反乱)はイギリスへの最大の抵抗だったが鎮圧され、1877年にヴィクトリア女王がインド皇帝の称号を得た。以後、鉄道・通信・教育など近代化政策が導入されたが、インドの工業はイギリス製品に圧迫され、植民地支配の矛盾が広がった。

この矛盾の中から民族運動が生まれる。1885年に発足したインド国民会議は当初穏健だったが、第一次世界大戦後には自治要求を強め、ガンディーが大衆を動員した。しかし、民族運動が広がるにつれて、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の利害の違いや人口比の不均衡が浮き彫りになり、両者の対立は深刻化していった。

第二次世界大戦中に大量の兵士を動員したインドの独立を認めざるを得なくなったイギリスは、その宗教対立を調停できず分離・独立を選択する。1947年、インド連邦とパキスタンが同時に誕生した。だが境界線の画定は拙速で、パンジャーブやベンガルでは大規模な暴動・難民移動が発生し、数百万人が犠牲となった。パキスタンはさらに1971年に東西分裂し、バングラデシュが独立したが、この分離・独立の過程は南アジアに対立の火種を残した。

独立後、インドはネルー首相の下で非同盟路線を掲げ、冷戦の両陣営から一定の距離を保ちつつ、計画経済で工業化を推進した。高等教育や科学研究への投資は、後のIT立国の基盤を築く。1991年以降の経済自由化で外資導入や市場開放を進めると、ソフトウェア・通信・サービス業を中心に急成長を遂げ、世界経済を動かす存在へと躍進した。しか

し一方で、急速な経済成長は地域間・都市農村間の格差を拡大させ、失業問題やインフラ不足、さらにはカーストや宗教対立の残存といった社会問題を深刻化させている。今日のインドは、ムガル帝国の多様性統合、植民地支配の矛盾、宗教分裂と独立闘争という歴史の積み重ねを前提にしつつ、経済大国でありながら複雑な社会的課題に直面する国家の姿を示しているのである。

問 1 空欄 にあてはまる人名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ティムール
- ② バヤジット 1 世
- ③ バーブル
- ④ アクバル

問 2 下線部(2)について、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① インドとペルシアの絵画様式が融合して「ムガル絵画」が成立した。
- ② ヒンドゥー教の叙事詩『マハーバーラタ』がペルシア語に翻訳された。
- ③ ペルシア建築とインド建築が融合し、のちのタージ=マハルなどに結実する様式が発展した。
- ④ キリスト教とイスラーム教を融合した新宗教が生まれ、宣教師が派遣された。

問 3 下線部(3)について、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アウラングゼーブ帝は、アクバル帝が廃止したジズヤ(人頭税)を復活させ、ヒンドゥー教徒に課した。
- ② ヒンドゥー教徒のラージプート諸王は、アクバル帝の時代には婚姻関係を通じてムガル帝国と協調していた。
- ③ シク教は、ナーナクを開祖として 16 世紀初頭に成立し、イスラームとヒンドゥー教の要素を折衷した宗教である。
- ④ シク教徒は、アウラングゼーブ帝以外の時代には、宗教的自由を保障された。

問 4 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① デンマーク東インド会社
- ② オランダ東インド会社
- ③ フランス東インド会社
- ④ イギリス東インド会社

問 5 下線部(5)について、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ベンガルはデカン高原中央部に位置し、鉄鉱石や綿花の産地として知られた。
- ② ベンガルはガンジス川下流域に広がり、稲作と綿織物生産が盛んで、豊かな経済基盤をもっていた。
- ③ ベンガルはインダス川上流域に位置し、古代からゾロアスター教徒の拠点となっていた。
- ④ ベンガルはアフガニスタン東部に位置し、カブールを中心に香辛料貿易で栄えた。

問 6 下線部(6)について、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イギリス本国は反乱を受けて東インド会社を廃止し、インドを直接支配する体制を築いた。
- ② 反乱はデリーで始まり、反乱軍はメーラトに入りムガル皇帝を担ぎ出した。
- ③ 反乱は地主・商人の全面的支持を得て、インド全域で成功した。
- ④ 反乱後、イギリスは軍事的干渉をやめ、教育や鉄道の整備をインド人主体で進めることを認めた。

問 7 下線部(7)について、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イギリスの産業革命で機械制綿工業が発展し、安価な綿製品がインド市場に大量に流入した。
- ② インドの伝統的な綿布産業(モスリンなど)は打撃を受け、多くの職人が失業した。
- ③ インドの農村では輸出用の綿花栽培が拡大し、食糧生産が減少して飢饉を招く要因となった。
- ④ イギリスはインドの綿業を保護するため、高関税を設けて国内産業の育成を優先した。

問 8 下線部(8)について、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ガンディーは武装蜂起による直接行動を呼びかけ、イギリスの軍事施設を襲撃することで民衆を結集させた。
- ② ガンディーは塩の専売に抗議する「塩の行進」を行い、植民地政府の政策に対して大衆の抵抗を組織した。
- ③ ガンディーはイスラーム教徒のみを対象にした運動を展開し、ヒンドゥー教徒とは一切協力しなかった。
- ④ ガンディーはイギリスと妥協して国民会議派を解散させ、植民地統治の継続を支持した。

問 9 下線部(9)について、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① パキスタンは1947年、インドから分離・独立した際、イスラーム教徒を主体とする国家として成立した。
- ② 当初のパキスタンは、西部の現在のパキスタンと、東部の現在のバングラデシュの二地域に分かれていた。
- ③ 1971年、東パキスタンが独立してバングラデシュとなり、パキスタンは西部地域のみとなった。
- ④ パキスタンは独立以来、イギリス連邦(コモンウェルス)に加盟せず、一貫して孤立主義をとった。

問10 下線部(10)について、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① パンジャーブはインダス川上流域に広がる肥沃な地域で、古代インダス文明の中心地の一つでもあった。
- ② 1947年の印パ分離・独立では、パンジャーブがインドとパキスタンに分割された。
- ③ パンジャーブにはシク教徒が多く居住しており、独自の宗教的・地域的アイデンティティを形成していた。
- ④ パンジャーブは分離・独立の際、宗教的対立が起こらなかった。

問11 10年以上継続した下線部(11)の経過を示す a～c について、時系列として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- a 政治と経済の主導権が西パキスタンに集中し、人口が多い東では不満が強まった。
- b 東パキスタンが独立を宣言し、インドの支援を受けてバングラデシュが誕生した。
- c インドと分離してパキスタンが独立し、西パキスタンと東パキスタンの二つに分かれて成立した。

- ① a→b→c ② c→b→a ③ b→a→c ④ c→a→b

問12 下線部(12)について、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 非同盟路線とは、冷戦期に米ソいずれの陣営にも属さず、中立の立場から国際政治に関与しようとした姿勢を指す。
- ② インドはユーゴスラヴィアやエジプトなどと協力し、アジア・アフリカ諸国の独立運動を支援した。
- ③ 非同盟路線は、インドがアメリカ主導の西側陣営に軍事的に参加することを前提に展開された。
- ④ この方針は1961年の非同盟諸国首脳会議などで具体化され、多くの新興独立国に影響を与えた。

次ページ以降にも問題があります。

問題 II

次の文章を読み、下の問(問 13~24)に答えよ。

1941年8月にローズヴェルトとチャーチルによる会談で発表された大西洋憲章を具体化するために、⁽¹³⁾1944年8月、米・英・ソ・中はダンバートン=オークス会議を開き、国際連合憲章の原案をまとめた。この原案は1945年のサンフランシスコ会議で採択され、51カ国を原加盟国として⁽¹⁴⁾国際連合が発足した。国際連合は、対等な全加盟国によって構成される総会をおく一方で、安全保障理事会(安保理)には強い権限が与えられた。また、第3回総会において [15] が採択された。国際連合には、国際の平和と安全の維持などの実現が期待された。さらに、国際労働機関(ILO)や世界保健機関(WHO)などの専門機関と連携して、様々な分野で国際協力を進めることとなった。

国際金融・経済面においても、戦後の国際経済秩序を確立するため、1944年にブレトン=ウッズで開かれた連合国通貨金融会議で締結されたブレトン=ウッズ協定に基づいたブレトン=ウッズ体制が始まり、1945年には国際通貨基金(IMF)と国際復興開発銀行⁽¹⁶⁾(IBRD)が設立された。また、国際的な貿易協定である「関税と貿易に関する一般協定」(GATT)は1947年に調印され、1948年に発効し、貿易秩序の形成が目指された。GATTは、[17] が第二次世界大戦の一因となったという反省から生まれたものであり、関税引き上げやその他の貿易制限を廃止し、自由貿易を推進することなどを目的としていた。

東欧でのソ連の進出と西欧での共産党の躍進を見て、ギリシアにおける王党派と共産党派の内戦を契機として、1947年にアメリカ大統領が共産主義の脅威に対抗するための政治的・軍事的な指針であるトルーマン=ドクトリンを、また、アメリカの [18 a] がそれを経済的に実現するための具体的な手段である [18 b] をそれぞれ発表した。西欧諸国は、1948年にヨーロッパ経済協力機構(OEEC)を設立してこれに応じたが、ソ連や東欧諸国は参加しなかった。しかしながら、ソ連は、東欧6カ国の共産党(労働党)とフランス、イタリアの共産党との情報交換機関として [19] を結成して対抗した。これにより、ヨーロッパでは米ソの対立を背景に、⁽²⁰⁾冷戦の時代が始まった。また、米・ソの直接的な軍事的衝突を避ける代わりに、⁽²¹⁾両陣営がそれぞれの勢力圏や影響力拡大のため、第三国を舞台とした代理戦争が繰り返し広げられた。世界の多くの地域が東西陣営のいずれかに組み込まれる中、アジア・アフリカの新興諸国は第三勢力として連携することで国際社会における存在感を強めた。1955年、インドネシアのバンドンで、29カ国代表が参加して [22] の開催が実現し、平和共存・反植民地主義などをうたった [23] が採択された。また、1964年には第三世界の国々の多くが、経済的な自立と発展を目指して、国際社会に訴え続けた問題である [24] の是正を目指してUNCTADが結成された。

問13 下線部(13)のローズヴェルトが世界恐慌時に実行したニューディール政策に関して、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ワグナー法によって労働者の団結権と団体交渉権を認めた。
- ② テネシー川流域開発公社に代表される公共事業によって、失業者を減らそうとした。
- ③ 全国産業復興法(NIRA)により企業間の競争を最大限に促進し、政府の市場介入を最小限に抑えた。
- ④ 農業調整法(AAA)で農業生産を調整し、農産物の価格を引き上げた。

問14 下線部(14)の特徴として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 軍事的手段による紛争解決を行うことができる。
- ② 経済制裁を行うことができない。
- ③ 安保理の常任理事国は、公平な地理的配分を考慮して選出される。
- ④ 加盟国に対して、国内法と同様の普遍的強制力を持つ法律を制定できる。

問15 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① カイロ宣言
- ② 奴隷解放宣言
- ③ 基本的人権の尊重
- ④ 世界人権宣言

問16 下線部(16)の根幹をなす国際通貨制度の名称として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 金本位制
- ② 金・ドル本位制
- ③ 管理通貨制度
- ④ 変動相場制

問17 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 善隣外交
- ② 全体主義
- ③ ブロック経済
- ④ モラトリアム

問18 空欄 と にあてはまる語の組み合わせとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① a 国務長官 b マーシャル＝プラン
- ② a 国防長官 b マーシャル＝プラン
- ③ a 国務長官 b ドーズ＝プラン
- ④ a 国防長官 b ドーズ＝プラン

問19 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① コメコン
- ② ワルシャワ条約機構
- ③ コミンフォルム
- ④ コミンテルン

問20 下線部(20)の特徴として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 単なる勢力争いというよりも、資本主義と社会主義の優劣をめぐる世界観の対立であった。
- ② 米・ソは、自身の体制こそが経済成長と繁栄をもたらすと主張するとともに、西側は平等を、東側は自由を、自陣営の長所としてそれぞれ協調した。
- ③ 両陣営はそれぞれ軍事同盟や経済協力機構を形成し、互いに協力せず、排他的な関係を築いた。
- ④ 核開発競争の過熱とともに、核戦争の脅威が高まり、相次ぐ核実験は「死の灰」と呼ばれた放射能による犠牲者を生んだ。

問21 下線部(21)に関して、以下の代理戦争が発生した順に正しく並べたものとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 朝鮮戦争 → ベトナム戦争 → アフガニスタン紛争
- ② ベトナム戦争 → 朝鮮戦争 → アフガニスタン紛争
- ③ アフガニスタン紛争 → ベトナム戦争 → 朝鮮戦争
- ④ 朝鮮戦争 → アフガニスタン紛争 → ベトナム戦争

問22 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 東アジアサミット
- ② 非同盟諸国首脳会議
- ③ アジア＝アフリカ会議
- ④ APEC 会議

問23 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 民族自決の原則
- ② 平和五原則
- ③ 平和十原則
- ④ 十四カ条

問24 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① エネルギー問題
- ② グローバリズム
- ③ 東西問題
- ④ 南北問題

次ページ以降にも問題があります。

問題Ⅲ

次の文章を読み、下の問(問 25～35)に答えよ。

中世温暖期には、北大西洋地域を中心として気温が比較的高い状態が続いた。温暖な気候の下、北半球の中緯度地域では、農業生産が増加し、人口が増え、都市も発展した。また、国や都市の間での交易も活発化した。しかし、14世紀になると、北半球を中心に長期的な寒冷化が進み、農業生産は低下した。この気候変動は、疫病の流行や経済活動の停滞、政治的な混乱などをもたらす一因となった。例えば、同時期には、中国では元朝の衰退が進み、ヨーロッパではイギリスとフランスの間で百年戦争が勃発した。このような混乱期において、中国とヨーロッパは交易政策において、対照的な方針をとった。

元末の中国では、白蓮教徒を中心とした民衆反乱が各地で発生した。その中で勢力を伸ばしたのが、朱元璋である。彼は儒学の素養を持つ文官や士大夫の協力を得て勢力を伸ばし、1368年に南京で皇帝に即位し、明を建てた。

朱元璋は [26] を名乗り、官僚機構や租税制度の整備、土地台帳の編纂などを通じて、中央集権化を進めた。[26] の死後、政権争いを収めて帝位についたのが永楽帝である。永楽帝は積極的な対外政策をとり、みずから軍を率いてモンゴル高原に遠征した。また、ムスリムの宦官鄭和に命じて、大艦隊を率いてインド洋からアフリカ沿岸にまで数回の遠征を行わせた。これには明の威信を内外に示す意図などがあったとされる。

明は対外的にも強い統制政策をとった。代表的なのが、海禁政策と国家が管理する朝貢貿易体制である。朝貢貿易では、明と周辺地域との間に一種の主従関係が結ばれ、周辺地域は貢物を献上する代わりに、下賜品を受け取るという形式がとられた。朝貢貿易では、朝貢関係を結んでいない国が明と直接取引する機会が制限されていた。そのため、琉球や [29] 王国など、朝貢関係を結んだ国や地域が、中継地として重要な役割を果たし、特にムスリム商人との交易を仲介することで大いに栄えた。一方で、北方のモンゴルや日本の倭寇などは、朝貢貿易による自由な貿易の制限に不満を募らせ、明の対外関係の不安定要因ともなった。

ほぼ同時期に海上交通を通じて積極的な対外政策をとったのが、ポルトガルやスペインといったヨーロッパ諸国であった。ヨーロッパ諸国において、アジアからの交易品の中でも、とりわけ [30] は重宝された。しかし、[30] はムスリム商人によって紅海やオスマン帝国を経由して輸送されたため、ヨーロッパに届く頃には非常に高価なものとなっていた。そのため、ヨーロッパ諸国にとって、アジアとの直接的な取引と、それを可能にする新たな交易路の開拓は、きわめて魅力的な事業となった。

ヨーロッパ諸国がアジアと直接交易を行うためには、アフリカ大陸を迂回する航路を開拓する必要があった。その航路の開拓に力を注いだのがポルトガルである。15世紀になると、ポルトガルはエンリケ航海王子やジョアン2世の下で、アフリカ西岸の探検や南大

西洋に探検隊を派遣した。1488年にバルトロメウ＝ディアスがアフリカの南端である [32] に到達した。そして、1498年には [33] がインドに到達し、ヨーロッパとインドを直結する航路を開拓した。ポルトガルはインドのゴアを拠点として、東南アジアにも進出した。特に、16世紀の初めには、大砲や鉄砲などを用いて [29] を占領した。

このようなヨーロッパ諸国による積極的な海洋進出に加え、16世紀半ばにはモンゴルや倭寇などが海禁政策の打破を目指して活動を活発化させた。その結果、朝貢貿易を中心とした明の海禁政策は次第に形骸化していった。さらに、16世紀に明は租税や労役を銀による納付へと一本化する [34] を導入し、国内での銀需要が急増した。ちょうど同じ時期に、アメリカ大陸のスペイン植民地や日本から大量の銀が流入したが、長らく朝貢貿易体制に依存していたため、明は自国の船舶による物資輸送が困難であった。そのため、ヨーロッパ諸国による中継貿易に依存せざるを得なかったのである。

17世紀になると、気候変動の影響によって農業生産が落ち込み、社会は不安定化した。さらに、モンゴルや倭寇への対策に加え、朝鮮半島や東北地方での戦費を賄うために重税が課され、農村では不満が高まった。その結果、各地で農民反乱が勃発し、1644年には李自成率いる反乱軍が北京を占領し、明は滅亡した。ちょうどその頃、東北地方を統一した女真族出身のホンタイジが皇帝として [35] を建て、中国支配を開始した。しかし、明代に海上交通の覇権を失った影響は [35] にも引き継がれ、以後、長らく、中国は国際的な貿易ネットワークの中心から外れることとなった。

問25 下線部(25)に関する記述として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イギリスの王位継承をめぐる内乱であり、ヘンリ7世がこの内乱を取めた。
- ② ボヘミアのプロテスタント貴族の反乱をきっかけに勃発した戦争であり、ウェストファリア条約により終結した。
- ③ イギリス国王エドワード3世がフランス王位継承権を主張して起こった戦争で、ジャンヌ＝ダルクの登場により、フランスが優勢になった。
- ④ ナポレオンがイギリスにしかけた戦争で、これに敗れたナポレオンは、大陸封鎖令により、ヨーロッパ諸国にイギリスとの貿易を禁じた。

問26 空欄 [26] にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 始皇帝
- ② 孝文帝
- ③ 洪武帝
- ④ 万暦帝

問27 下線部(27)を意味する語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 仏教徒
- ② イスラム教徒
- ③ ヒンドゥー教徒
- ④ キリスト教徒

問28 下線部(28)について、明朝に関する取り組みの説明として、最も適切なものを次の

- ①～④のうちから一つ選べ。
- ① 民間人による海上貿易を原則禁止する政策である。
- ② 海上貿易を、中国船と相手国の船舶に限定する政策である。
- ③ 外国との貿易港を広州1港に限定する政策である。
- ④ 外国の製品に高額の関税を課す政策である。

問29 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① マラッカ
- ② グラナダ
- ③ カンボジア
- ④ カルタゴ

問30 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 茶
- ② 火薬
- ③ タバコ
- ④ 香辛料

問31 下線部(31)に関する説明として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① メフメト2世は1453年にコンスタンティノープルを陥落させ、ビザンツ帝国を滅ぼした。
- ② スレイマン1世はプレヴェザの海戦にてヴェネツィアなどの艦隊を破り、地中海東部の制海権を確立した。
- ③ ヨーロッパとの交易では、カピチュレーションという特権を持つ商人たちが活躍した。
- ④ 19世紀半ば頃、ムスタファ＝ケマルがタンジマートという官僚主導の西欧化改革を行った。

問32 空欄 にあてはまる語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 喜望峰
- ② ケープ・ホーン
- ③ 襟裳岬
- ④ ケープ・アデア

